
指導計画案 更新版 (2020.5.22)

株式会社 教育芸術社

【本資料5月22日更新版について】

3月26日、国立教育政策研究所のホームページに、『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』が公開されました。その内容を踏まえて、以下、2点を変更のうえ、更新版をアップいたします。

1. 「学習指導要領の内容との関連」について

別資料「年間学習指導計画作成資料」の、「学習指導要領の内容との関連」との関わりが、より明確になるように、各領域・分野の示し方を変更いたしました。当初アップした資料では、軽重を付けずに示していましたが、今回の更新版では、【評価に関わっている】指導事項を太字で示し、それ以外の【学習を進めるうえで関わる】指導事項を細字で示しました。

2. 評価規準について

別資料「年間学習指導計画作成資料」の、「学習指導要領の内容との関連」の見直しに伴い、下記の教材については、新たに評価の観点に加わったため、評価の文章が追加されています。

■ 「かぼちゃ」

※評価の文章を一部変更し、その部分は青字で示しました。

【本資料について】

- ・本資料は、教育芸術社発行の令和2年度用小学校音楽教科書「小学生の音楽1～6〈102～602〉」に基づいて作成されています。（用紙サイズは、B4ヨコ向きで、縮小率86%で作成されています。）

【本資料の扱い方について】

- ・扱い時数は目安を示したものです。行事などで授業時数に変更が生じてしまう場合には、巻末教材に配当された時数を活用したり、教材の選択や学習活動に軽重を付けたりするなどの調整を適宜行ってください。
- ・ここに掲載されている評価規準は、本資料に示された学習内容に即して設定された一つの参考例です。各学校や児童の実態に応じて評価規準を設定する際の一助としてご活用ください。
- ・本資料では、基本、1時間当たり1～2項目に精選して評価規準を示しています。

【2学期制への対応について】

- ・本資料は2学期制、3学期制にかかわらず、活用することができます。週ごとの授業時数や長期休暇の実施時期などは地域や学校ごとに異なっているため、各校の実態に応じて扱い時数などを調整しながら指導される学期や月を設定してください。

※新型コロナウイルスの感染防止に向けた緊急事態宣言による休校等の影響に対する資料については、弊社HPの「臨時休校に伴う4月以降の授業対応について【小学校】」の内容もあわせてご覧ください。

題材名	1. 音楽で みんなと つながろう	扱い時数のめやす
		4時間
題材の目標	(1) 歌詞の表す様子、リズムや拍などと曲想との関わりについて気づき、自分の歌声や発音に気を付け、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 互いの歌声や伴奏を聴いて声の出し方や強弱の仕方を工夫し、歌い方について思いをもったり、リズムや拍と曲想との関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたりする。 (3) 声の出し方を考えて友達と一緒に歌ったり、体を動かしながら音楽を聴いたりする学習を楽しみ、日本や世界の遊びうたや踊りの音楽に親しむ。	
題材の意図	学年当初の本題材では、これから始まる2年生の音楽の授業に、子供たちが意欲をもって主体的に取り組むことができるようにするため、友達と協働しながら表現と鑑賞の学習を通して音楽の楽しさを感じていきます。 2年生では、始めに拍を感じ取りながらいろいろな国の挨拶の言葉を覚えて歌ったり、いろいろな国の遊びうたや踊りの音楽を楽しんで聴いたりします。その際、歌いながらみんなで遊んだりリズム打ちをしたり、踊りの様子を想像しながら音楽を聴いて体を動かしたりします。このような様々な活動を通して、一人一人の発想を生かしながら学級全体をまとめていき、一人では体験することができない表現の楽しさや、友達と一緒に歌う喜びなどを味わうことができるようにしましょう。	
学習指導要領との関連	A表現 (1)歌唱 ア 、 イ 、ウ(ア)(イ)(ウ) B鑑賞 ア 、 イ [共通事項] ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 音色、リズム、強弱、 拍 イ 呼びかけとこたえ	

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思・判・表）	主体的に学習に取り組む態度（態）
①自分の歌声や発音に気を付けて、互いの歌声を聴きながら声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 ②リズムや拍などと曲想との関わりについて気付いている。 ③歌詞の表す様子や強弱、拍、呼びかけとこたえなどと曲想との関わりについて気づき、自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。	①声の音色や呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、拍によって声の出し方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 ②拍やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、体を動かしたり歌ったりして曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。 ③歌詞の表す様子や呼びかけとこたえ、強弱や拍と曲想との関わりについて考え、声の出し方や強弱を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	①自分や友達の歌声に興味・関心をもち、互いの歌声や話し声を聴きながら声の出し方を考え、友達と一緒に歌う学習に楽しんで取り組もうとしている。 ②友達と一緒に歌ったり体を動かしたりしながら音楽を聴く活動を楽しみ、世界の遊びうたに親しもうとしている。

※「小犬のビンゴ/ロンドンばし」「ティニクリン/エースオブダイヤモンド/とうしんドーイ」の思・判・表②は同じ観点で見取っています。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
みんなで いっしょに あか るい こえで うたいましょ う。	○メッセージ	1	●曲の感じをつかみ、主な旋律を歌う。 ●声の出し方を工夫して「1の くみ」と「2の くみ」を歌う。 ●二つの組に分かれ、呼びかけとこたえを生かして歌を楽しむ。	◆声の音色や呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、拍にのって声の出し方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 【思・判・表① 行動観察, 発言内容】 ◆自分や友達の歌声に興味・関心をもち、互いの歌声や話し声を聴きながら声の出し方を考え、友達と一緒に歌う学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態① 表情観察, 行動観察, 演奏聴取】 ◆自分の歌声や発音に気を付けて、互いの歌声を聴きながら声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 【技① 演奏聴取】
ともだちと せかいの あそ びうたを 楽しみましょ う。	♪小犬の ビンゴ ♪ロンドンばし	2	●鑑賞用 CD を聴いて曲の雰囲気を感じ取る。 ●歌いながら遊び、リズムや拍などと曲想との関わりについて気付く。	◆友達と一緒に歌ったり体を動かしたりしながら音楽を聴く活動を楽しみ、世界の遊びうたに親しまおうとしている。 【態② 表情観察, 行動観察, 発言内容】 ◆拍やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、体を動かしたり歌ったりして曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表② 行動観察, 発言内容】
いろいろなくにの おど りの 音楽を 楽しみましょ う。	♪ティニクリン/エース オブ ダイヤモンド/とうしん ドーイ	3	●リズムや拍と曲想との関わりについて気付き、体を動かしながら音楽を聴く。 ●曲全体を味わって聴く。	◆リズムや拍などと曲想との関わりについて気付いている。 【知② 行動観察, 発言内容】 ◆拍やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、体を動かしたり歌ったりして曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表② 行動観察, 発言内容】
かくれんぼで あそんで いる ようすを おもいかべ ながら うたいましょ う。	(共)かくれんぼ	4	●指導用 CD を聴き、リズムを生かして楽しく歌う。 ●呼びかけとこたえを生かして、歌い方を工夫する。 ●互いの演奏を聴き合う。	◆歌詞の表す様子や呼びかけとこたえ、強弱や拍と曲想との関わりについて考え、声の出し方や強弱を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 【思・判・表③ 行動観察, 発言内容】 ◆歌詞の表す様子や強弱、拍、呼びかけとこたえなどと曲想との関わりについて気付き、自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。 【知・技③ 演奏聴取】

※「小犬のビンゴ/ロンドンばし」「ティニクリン/エース オブダイヤモンド/とうしん ドーイ」の思・判・表②は同じ観点で見取っています。

題材名	2.はくの まとまりを かんじとろう	扱い時数のめやす 6時間
題材の目標	(1)拍子やリズム、旋律と曲想との関わりについて気付き、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2)拍子の違い、リズムや旋律の特徴が生み出すよさや面白さから、リズムにのった表現について思いをもったり、曲全体を味わって聴いたりする。 (3)拍子の違いに興味・関心を持ち、友達と交流しながら体を動かして歌ったり音楽を聴いたりする学習に楽しんで取り組む。	
題材の意図	この題材では、1年生で身に付けた拍に対する感覚を基に学習を展開します。ここでは、2拍子と3拍子の違いを感じ取りやすい表現と鑑賞の教材が配置されています。それらの教材を生かして体を動かしながら歌ったり聴いたりする活動を通して、子供たちが2拍子と3拍子の違いや特徴を感得できるように学習を進めていきます。 また、常時活動として扱う「リズムあそび」を設け、友達とリズムリレーをしたり、友達とペアになってリズム打ちをしたりして、楽しみながら拍に対する感覚をより一層高めるとともに、拍子感を養うようにします。	
学習指導要領との関連	A表現 (1)歌唱 ア 、 イ 、 ウ (ア)(ウ) (2)器楽 ア 、 イ (ア)(イ)、 ウ (イ)(ウ) (3)音楽づくり ア (ア)、 イ (ア)(イ)、 ウ (ア) B鑑賞 ア 、 イ 〔共通事項〕 ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア リズム 、 旋律 、 拍	

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、**ア**は音楽を特徴付けている要素、**イ**は音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思・判・表）	主体的に学習に取り組む態度（態）
①歌詞の表す様子、拍のまとまりやリズムと曲想との関わりについて気付き、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。	①拍やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、拍にのった歌い方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	①拍のまとまりに興味・関心を持ち、友達と交流しながら拍を打ったり手遊びして歌ったりする学習に楽しんで取り組もうとしている。
②音色に気を付けて、音を合わせてリズムを打つ技能を身に付けて演奏している。	②拍のまとまりやリズムを聴き取り、2拍子と3拍子の違いが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、3拍子を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	②2拍子と3拍子の違いに興味・関心を持ち、友達と交流しながら体を動かして音楽を聴く学習に楽しんで取り組もうとしている。
③2拍子、3拍子の拍のまとまりの特徴やリズム、旋律などと曲想との関わりについて気付いている。	③2拍子と3拍子の違いやリズム、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、体を動かすなどして曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。	

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
2びょうしを かんじなが ら うたいましょう。	○はしの 上で (そだてよう) 2びょうしで リズムあそび	1 2	●リズム遊びをする。 ●曲の感じをつかんで歌う。 ●2拍子の拍のまとまりを感じ取る。 ●グループごとに2拍子を感じ取りながら声を合わせて歌う。	◆拍のまとまりに興味・関心を持ち、友達と交流しながら拍を打ったり手遊びして歌ったりする学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態① 行動観察, 発言内容】 ◆拍やリズムを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 拍にのった歌い方を工夫し, どのように歌うかについて思いをもっている。 【思・判・表① 発言内容, 行動観察】 ◆歌詞の表す様子, 拍のまとまりやリズムと曲想との関わりについて気付き, 互いの歌声や伴奏を聴いて, 声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 【知・技① 演奏聴取, 行動観察】
3びょうしを かんじなが ら うたいましょう。	○たぬきの たいこ (そだてよう) 3びょうしで リズムあそび	3 4	●拍のまとまりを感じ取りながら, リズムリレー (常時活動) を楽しむ。 ●「たぬきの たいこ」の拍のまとまりを聴き取り, 3拍子を生かして歌う。 ●ペアで3拍子の手遊びをしながら歌う。 ●「3びょうしで リズムあそび」をする。	◆拍のまとまりやリズムを聴き取り, 2拍子と3拍子の違いが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 3拍子を生かした表現を工夫し, どのように歌うかについて思いをもっている。 【思・判・表② 行動観察, 演奏聴取】 ◆音色に気を付けて, 音を合わせてリズムを打つ技能を身に付けて演奏している。 【技② 行動観察, 演奏聴取】
2びょうしと 3びょうし の ちがいを かんじなが ら ききましょう。	♪ミッキーマウス マーチ/ メヌエット	5 6	●2拍子と3拍子の拍のまとまりの違いを感じ取りながら聴く。 ●体を動かしながら曲想を感じ取って聴く。	◆2拍子, 3拍子の拍のまとまりの特徴やリズム, 旋律などと曲想との関わりについて気付いている。 【知③ 発言内容, 行動観察】 ◆2拍子と3拍子の違いやリズム, 旋律を聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 体を動かすなどして曲や演奏の楽しさを見だし, 曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表③ 行動観察, 発言内容】 ◆2拍子と3拍子の違いに興味・関心を持ち, 友達と交流しながら体を動かして音楽を聴く学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態② 行動観察】

題材名	3. ドレミで あそぼう	扱い時数のめやす
		10時間
題材の目標	(1) 旋律の音の動きやリズム, その重なりなどと曲想との関わりについて気付き, 階名で歌ったり楽譜を見て演奏したりする技能や, 音を選んで短い旋律をつくる技能を身に付ける。 (2) 旋律の音の動きに合わせて体を動かしながら音楽を聴いたり, 旋律の特徴を生かした表現の仕方や音のつなげ方について思いをもったりする。 (3) 互いの声や音を聴き合いながら階名で歌うことに親しみ, 旋律の特徴を感じ取って, 聴いたり表現したりする学習に楽しんで取り組む。	
題材の意図		
この題材は, 1年生で学習してきた音程感覚をより確かなものにしていくことに重点を置いて設定しています。音の高低を感じ取りながら聴いたり歌ったりする活動を通して, 音の高低に対する感覚を養っていくようにします。その際, 「ドレミ風船」を使って, 音の高低を手の動きと関連付けて行うことにより, 子供たちは楽しみながら体験的に音の高低を感じ取り, 音程感覚をより育てていきます。また, 鍵盤楽器については, 階名唱を基に旋律を演奏する技能を養ったり, 吹き方の工夫を通して表現の仕方を学んだりしていきます。		
学習指導要領との関連		
A 表現 (1) 歌唱 ア, イ, ウ (ア)(イ)(ウ) (2) 器楽 ア, イ (ア)(イ), ウ (ア)(イ)(ウ) (3) 音楽づくり ア (ア), イ (イ), ウ (ウ) B 鑑賞 ア, イ [共通事項] ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 音色, リズム, 旋律 , 音の重なり, フレーズ イ 音楽の縦と横との関係		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち, アは音楽を特徴付けている要素, イは音楽の仕組み, 核となるものについては, **太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
① 歌詞の表す情景や気持ち, 歌声の響きや旋律の音の動きなどと曲想との関わりについて気付いている。 ② 旋律やフレーズに気を付けて, 階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けて歌っている。 ③ 節奏を聴いたり絵譜を見たりして, 旋律の音の動きや音色に気を付けて鍵盤ハーモニカを演奏する技能を身に付けて演奏している。 ④ 旋律やフレーズ, 音楽の縦と横との関係と曲想との関わりについて気付き, 互いの歌声や音を聴いて, 声や音を合わせて表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。 ⑤ 音のつなげ方の特徴に気付き, 提示された音を使って即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けてつくっている。	① 歌詞の表す情景や気持ち, 歌声の響き, 旋律の音の動きを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 曲や演奏の楽しさを見だし, 体を動かすなどして味わって聴いている。 ② 音色や旋律の特徴を聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 歌詞から演奏の仕方を工夫し, どのように表現するかについて思いをもっている。 ③ 旋律やフレーズ, 音楽の縦と横との関係を聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 歌い方を工夫し, どのように歌うかについて思いをもっている。 ④ 旋律の特徴や歌と楽器の音の重なりと曲想との関わりが生み出すよさや面白さを生かして, 歌い方や演奏の仕方を考え, どのように表現するかについて思いをもっている。	① 歌詞の表す情景や気持ち, 歌声の響きや旋律の音の動きと曲想との関わりについて興味・関心を持ち, 音の高さに気を付けて歌ったり聴いたりする学習に楽しんで取り組もうとしている。 ② 旋律の特徴やフレーズ, 音の重なり合いと曲想との関わりについて意識し, 歌声や鍵盤ハーモニカの音色に気を付けて, 声や音を合わせて表現する学習に楽しんで取り組もうとしている。

※「ドレミのうた」と「ぶっかりくじら」の知①は, 同じ観点で見取っています。

※「かっこう」と「かえるのがっしょう」の技②は, 同じ観点で見取っています。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	安 数 据 の い 目 時	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
音の たかさに 気をつけながら、うたったり きいたり しましょう。	♪○ドレミの うた	1	●鑑賞用 CD を聴いて「ドレミの うた」の歌詞を聴き取り、音の高さの違いを感じ取る。	◆歌詞の表す情景や気持ち、歌声の響きや旋律の音の動きなどと曲想との関わりについて気付いている。 【知① 演奏聴取, 行動観察】 ◆歌詞の表す情景や気持ち、歌声の響きや旋律の音の動きと曲想との関わりについて興味・関心を持ち、音の高さに気を付けて歌ったり聴いたりする学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態① 演奏聴取, 行動観察】 ◆歌詞の表す情景や気持ち、歌声の響き、旋律の音の動きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲や演奏の楽しさを見だし、体を動かすなどして味わって聴いている。 【思・判・表① 行動観察, 演奏聴取】
音の たかさに 気をつけながら、うたったり ふいたり しましょう。	◇○かっこう	3	●曲全体の感じをつかんで歌う。	◆旋律やフレーズに気を付けて、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けて歌っている。 【技② 行動観察, 演奏聴取】 ◆範奏を聴いたり絵譜を見たりして、旋律の音の動きや音色に気を付けて鍵盤ハーモニカを演奏する技能を身に付けて演奏している。 【技③ 行動観察, 演奏聴取】 ◆音色や旋律の特徴を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、歌詞から演奏の仕方を工夫し、どのように表現するかについて思いをもっている。 【思・判・表② 演奏聴取, 行動観察】
音の たかさに 気をつけながら、うたや 鍵盤ハーモニカで おいかけっこを しましょう。	◇○かえるの がっしょう	5	●拍にのって、歌詞や階名で歌う。	◆旋律やフレーズに気を付けて、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けて歌っている。 【技② 演奏聴取, 行動観察】 ◆旋律やフレーズ、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、歌い方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 【思・判・表③ 行動観察, 演奏聴取, 発言内容】 ◆旋律やフレーズ、音楽の縦と横との関係と曲想との関わりについて気付き、互いの歌声や音を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。 【知・技④ 演奏聴取】
うたに あわせて 鍵盤ハーモニカを ふきましょう。	○◇ぶっかり くじら ☆せんりつあそび	8	●曲の特徴をつかんで歌ったり演奏したりする。	◆歌詞の表す情景や気持ち、歌声の響きや旋律の音の動きなどと曲想との関わりについて気付いている。 【知① 演奏聴取, 発言内容】 ◆旋律の特徴や歌と楽器の音の重なりと曲想との関わりが生み出すよさや面白さを生かして、歌い方や演奏の仕方を考え、どのように表現するかについて思いをもっている。 【思・判・表④ 演奏聴取, 行動観察, 発言内容】 ◆音のつなげ方の特徴に気付き、提示された音を使って即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けてつくっている。 【知・技⑤ 演奏聴取】 ◆旋律の特徴やフレーズ、音の重なり合いと曲想との関わりについて意識し、歌声や鍵盤ハーモニカの音色に気を付けて、声や音を合わせて表現する学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態② 行動観察】
		2	●音の高さに気を付けて歌いながら、交互唱したり階名のリレーをしたりして音楽を聴く。	
		4	●旋律の音の動きや音色に気を付けて、歌ったり演奏したりする。	
		4	●旋律の特徴を生かして表現の仕方を工夫し、思いをもって表現する。	
		6	●互いの歌声に気を付けて歌い方を工夫し、歌詞や階名で輪唱する。	
		7	●音色に気を付けて、楽器と歌で表現する。	
		9	●曲の特徴を生かして、歌と楽器を合わせて表現する。	
		10	●短い旋律をつくって、最後の2小節を歌と合わせて楽しむ。	

※「ドレミの うた」と「ぶっかり くじら」の知①は、同じ観点で見取っています。

※「かっこう」と「かえるの がっしょう」の技②は、同じ観点で見取っています。

題材名	4. せいかつの中にある音を楽しもう	扱い時数のめやす 4時間
題材の目標	(1)身の回りの音の特徴に気付き、即興的に声で表現したり、音の重ね方に気を付けながら反復を用いて音楽をつくったりする技能を身に付ける。 (2)身の回りの音の音色を生かし、音遊びをして音楽づくりの発想を得たり、声のつなげ方や重ね方、反復の仕方について思いをもったりする。 (3)身の回りの音を探し、それらの音を声で表現したり友達と協力して音楽をつくったりする学習を楽しみ、生活の中にある音への興味・関心を広げる。	
題材の意図	子供たちを取り巻く環境は、自然や社会の目に見える現象だけでなく、耳に入る音や音楽もその一つです。ふだん何気なく聞いている音や音楽がどのような意味をもち、人間や動植物にどんな影響を及ぼすのか、そうした研究も行われているほどです。ここでは、低学年なりにそうした「音環境」に気付き、その音を自分なりに捉えて声で表現し、その声を使って音楽をつくる学習を展開します。こうした学習を通して、身近なもので音楽をつくることができることを実感したり、身の回りの音の意味を考えたりして、自ら音を出すときにどうしたらよいか、生活や社会とどのように関わっているのかなどを考えることができる子供の成長を目指します。	
学習指導要領との関連	A表現 (3)音楽づくりア(ア)(イ)、イ(イ)(イ)、ウ(ウ)(イ) [共通事項] ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 音色 、強弱、音の重なり イ 反復	

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
①生活の中で聞こえる様々な音の特徴に気付いている。 ②聞こえた音の感じを即興的に声で表現する技能を身に付けて友達と伝え合っている。 ③聞こえた音を表現した声のつなげ方や重ね方の特徴に気付いている。 ④聞こえた音を表現した声を組み合わせ、反復を用いて音楽をつくる技能を身に付けてつくっている。	①聞こえた音の音色を聴き取り、その音のよさや面白さを感じ取りながら、どのように声で表すかを工夫しながら、音楽づくりの発想を得ている。 ②声の音色を生かし、その組合せが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、声の重ね方や反復の仕方を考え、どのような音楽にするかについて思いをもっている。	①身近な生活の中で聞こえる音から、身の回りにある多様な音に興味・関心を広げながら、聞こえた音を声で表現したり友達と音楽をつくったりする学習に楽しんで取り組もうとしている。

「虫のこえ」の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
①歌詞の表す情景や気持ち、擬声語や旋律と曲想との関わりについて気付いている。 ②歌詞の擬声語を生かしながら、情景に合った表現で自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。	①擬声語の響き、旋律やフレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、声の出し方を工夫してどのように歌うかについて思いをもっている。	①擬声語に興味・関心をもち、情景を想像したり、声の出し方を工夫したりして歌う学習に楽しんで取り組もうとしている。

※「虫のこえ」は、学習内容や季節を考慮し、題材から独立しています。
 また、題材4の経験を生かし、「虫のこえ」の歌詞に出てくる擬声語を使って即興的に声遊びをすることで、学習を関連付けることができます。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
みのまわりの音をこえてあらわして、音楽をつくりましょう。	☆さがしてつくろう	1 2 3 4	<p>●身の回りで聞こえる音を探して、声で表現する。</p> <p>●声の出し方を工夫しながら見つけた音を表現し、友達と伝え合う。</p> <p>●三人組で、見つけた音を組み合わせる音楽をつくる。</p> <p>●三人組でつくった音楽を、友達に伝わるように表現を工夫して発表する。</p>	<p>◆生活の中で聞こえる様々な音の特徴に気付いている。 【知① 行動観察, 音ノートの記述】</p> <p>◆聞こえた音の感じを即興的に声で表現する技能を身に付けて友達と伝え合っている。 【技② 演奏聴取, 発言内容】</p> <p>◆聞こえた音の音色を聴き取り、その音のよさや面白さを感じ取りながら、どのように声で表すかを工夫しながら、音楽づくりの発想を得ている。 【思・判・表① 演奏聴取, 発言内容】</p> <p>◆聞こえた音を表現した声のつなげ方や重ね方の特徴に気付いている。 【知③ 演奏聴取, 発言内容】</p> <p>◆声の音色を生かし、その組合せが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、声の重ね方や反復の仕方を考え、どのような音楽にするかについて思いをもっている。 【思・判・表② 演奏聴取, 発言内容】</p> <p>◆聞こえた音を表現した声を組み合わせ、反復を用いて音楽をつくる技能を身に付けてつくっている。 【技④演奏聴取, 行動観察】</p> <p>◆身近な生活の中で聞こえる音から、身の回りにある多様な音に興味・関心を広げながら、聞こえた音を声で表現したり友達と音楽をつくったりする学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態① 行動観察, 発言内容】</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
かしのかんじを生かしてうたいましょう。	(共)虫のこえ	1 2	<p>●擬声語に興味・関心をもって歌う。</p> <p>●歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら、歌声や発音に気を付けて歌う。</p>	<p>◆擬声語に興味・関心を持ち、情景を想像したり、声の出し方を工夫したりして歌う学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態① 表情観察】</p> <p>◆歌詞の表す情景や気持ち、擬声語や旋律と曲想との関わりについて気付いている。 【知① 発言内容, 演奏聴取】</p> <p>◆歌詞の擬声語を生かしながら、情景に合った表現で自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。 【技② 演奏聴取】</p> <p>◆擬声語の響き、旋律やフレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、声の出し方を工夫してどのように歌うかについて思いをもっている。 【思・判・表① 演奏聴取, 発言内容】</p>

※「虫のこえ」は、学習内容や季節を考慮し、題材から独立しています。
また、題材4の経験を生かし、「虫のこえ」の歌詞に出てくる擬声語を使って即興的に声遊びをすることで、学習を関連付けることができます。

題材名	5. リズムを かさねて 楽しもう	扱い時数のめやす 8 時間
題材の目標	(1) 拍子やリズムなどと曲想との関わりについて気付き、リズム伴奏と合わせて歌ったりリズムを組み合わせて演奏したりする技能を身に付ける。 (2) 2拍子と3拍子の違いやリズムの特徴を生かして、拍にのった歌い方、リズムの打ち方や旋律の演奏の仕方について思いをもつ。 (3) 拍子とリズムとの関わりについて関心を持ち、拍にのって友達と合わせて歌ったり演奏したりする学習に楽しんで取り組む。	
題材の意図	この題材では、題材2「はくの まとまりを かんじとろう」で感じ取った2拍子と3拍子との感じの違いを思い出し、拍にのってリズム唱したり、手拍子や打楽器でリズムを打ったりする活動を進めます。リズムを重ねて演奏する学習を進めながら、リズム伴奏を重ねて歌う楽しさを味わい、2拍子や3拍子の音楽がもつよさや面白さを感じていきます。 リズム伴奏を友達と分担して演奏したり、それに合わせて歌ったりする協働的な学習を通して、拍子やリズムに対する感覚を高めるようにします。そうした活動の中で、リズム譜を見て演奏するための視奏の基礎となる力を養い、あわせて拍を意識しながら互いの音を聴いて演奏する技能も育てていきましょう。 また、2年生からは音符や休符の学習も始まります。ここでは、表現の活動を通して、音符や休符の長さの違いに気付いたり、リズム譜を見て演奏することに慣れ親しんだりするようにします。	
学習指導要領との関連	A表現 (1)歌唱ア, イ, ウ(ア)(イ) (2)器楽ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)(イ) [共通事項] ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア リズム, 音の重なり, 拍 ・身近な音符, 休符, 記号や音楽に関わる用語 4分音符, 4分休符, 8分音符, 8分休符	

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
①曲想と拍子やリズムとの関わりについて気付き、リズム譜を見て演奏する技能を身に付けて演奏している。 ②曲想と拍子やリズム、音の重なりとの関わりについて気付き、リズムを聴きながら友達と声を合わせて歌ったり、互いの楽器の音や歌声を聴きながら打楽器を演奏したりする技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。 ③曲想と拍子やリズム、旋律との関わりについて気付き、範唱を聴いて歌ったり階名唱したりする技能を身に付けて歌っている。 ④曲想と拍子やリズム、旋律との関わりについて気付き、互いの音を聴きながら鍵盤ハーモニカを演奏する技能を身に付けて演奏している。 ⑤楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付き、互いの楽器の音を聴きながら、音色に気を付けて音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。	①2拍子のリズムの特徴を生かしながら、曲の終わりの部分のリズムを工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。 ②2拍子と3拍子の違いやリズムの特徴を生かしながら、拍にのった歌い方やリズムの打ち方を工夫し、どのように表現するかについて思いをもっている。 ③拍子やリズム、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、リズムの打ち方や旋律の演奏の仕方を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。	①拍子とリズムとの関わりについて興味・関心を持ち、拍にのって友達と音を合わせて演奏する学習に楽しんで取り組もうとしている。 ②曲想と拍子やリズム、旋律との関わりについて興味・関心を持ち、拍にのって鍵盤ハーモニカを演奏する学習に、友達と仲よく楽しんで取り組もうとしている。

※「この空とぼう」と「いるかは ざんぶらこ」と「山の ポルカ」の知・技①は、同じ観点で見取っています。

※「この空とぼう」と「いるかは ざんぶらこ」の知・技②は、同じ観点で見取っています。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
2びょうしを かんじなが ら リズムを うちましょ	◇○この 空 とぼう	1 2	●拍のまとまりを感じ取りながら歌う。 ●2拍子を感じ取りながら、リズム譜を見てリズム打ちをする。 ●2拍子を感じ取りながら、リズム譜を見て打楽器で演奏する。 ●2拍子を感じ取りながら、歌とリズムを重ねて演奏する。	◆拍子とリズムとの関わりについて興味・関心を持ち、拍にのって友達と音を合わせて演奏する学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態① 行動観察, 演奏聴取】 ◆曲想と拍子やリズムとの関わりについて気付き、リズム譜を見て演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知・技① 演奏聴取, 行動観察】 ◆2拍子のリズムの特徴を生かしながら、曲の終わりの部分のリズムを工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。 【思・判・表① 行動観察, 演奏聴取, 発言内容】 ◆曲想と拍子やリズム、音の重なりとの関わりについて気付き、リズムを聴きながら友達と声を合わせて歌ったり、互いの楽器の音や歌声を聴きながら打楽器を演奏したりする技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。 【知・技② 行動観察, 演奏聴取】
3びょうしを かんじなが ら リズムを うちましょ。	◇○いるかは ざんぶらこ	3 4	●拍のまとまりを感じ取りながら歌う。 ●3拍子を感じ取りながら、リズム譜を見てリズム打ちをする。 ●3拍子を感じ取りながら、リズム譜を見て打楽器を演奏する。 ●3拍子を感じ取りながら、歌とリズムを重ねて演奏する。	◆曲想と拍子やリズムとの関わりについて気付き、リズム譜を見て演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知・技① 演奏聴取, 行動観察, 発言内容】 ◆2拍子と3拍子の違いやリズムの特徴を生かしながら、拍にのった歌い方やリズムの打ち方を工夫し、どのように表現するかについて思いをもっている。 【思・判・表② 演奏聴取, 行動観察】 ◆曲想と拍子やリズム、音の重なりとの関わりについて気付き、リズムを聴きながら友達と声を合わせて歌ったり、互いの楽器の音や歌声を聴きながら打楽器を演奏したりする技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。 【知・技② 行動観察, 演奏聴取】
はくに のって 楽しく がっ そうましょ。	◇山の ポルカ	5 6 7 8	●曲想と2拍子のリズムとの関わりを感じ取って歌う。 ●拍にのって、旋律を楽器で演奏する。 ●2拍子を感じ取りながら、リズム譜を見て打楽器で演奏する。 ●音色に気を付けながら、拍にのって合奏する。	◆曲想と拍子やリズム、旋律との関わりについて気付き、範唱を聴いて歌ったり階名唱したりする技能を身に付けて歌っている。 【知・技③ 演奏聴取, 行動観察, 発言内容】 ◆曲想と拍子やリズム、旋律との関わりについて興味・関心を持ち、拍にのって鍵盤ハーモニカを演奏する学習に、友達と仲よく楽しんで取り組もうとしている。 【態② 演奏聴取, 行動観察, 発言内容】 ◆曲想と拍子やリズム、旋律との関わりについて気付き、互いの音を聴きながら鍵盤ハーモニカを演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知・技④ 演奏聴取, 行動観察, 発言内容】 ◆曲想と拍子やリズムとの関わりについて気付き、リズム譜を見て演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知・技① 演奏聴取, 行動観察, 発言内容】 ◆拍子やリズム、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、リズムの打ち方や旋律の演奏の仕方を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。 【思・判・表③ 演奏聴取, 発言内容, 行動観察】 ◆楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付き、互いの楽器の音を聴きながら、音色に気を付けて音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知・技⑤ 演奏聴取, 演奏観察】

※「この 空 とぼう」と「いるかは ざんぶらこ」と「山の ポルカ」の知・技①は、同じ観点で見取っています。

※「この 空 とぼう」と「いるかは ざんぶらこ」の知・技②は、同じ観点で見取っています。

題材名	6. くりかえしを見つけよう	扱い時数のめやす 6 時間
題材の目標	(1) 旋律やリズムの特徴とその反復などと曲想との関わりについて気付き、声の出し方に気を付けて歌ったり反復を用いてリズムをつくったりする技能を身に付ける。 (2) 旋律やリズムが反復するよさや面白さを生かして、歌い方やリズムの組み合わせ方について思いをもったり、それを基に曲全体を味わって聴いたりする。 (3) 友達の考えを聞きながら、旋律やリズムの反復に着目して表現したり音楽を聴いたりする学習に楽しんで取り組む。	
題材の意図		
<p>この題材では、表現や鑑賞の学習を通して、音楽の仕組みの一つである「反復」が生み出す、旋律やリズムが繰り返される音楽の面白さに気付いていくようにします。</p> <p>歌唱教材「かねがなる」では、手を上下に動かして音の高さに気を付けながら歌ったり、鐘の音を表す擬音語で歌ったりして、短い旋律が反復されてできている曲であることに気付くようにします。さらに、音楽づくりの教材「おまつりの音楽」では、太鼓の口唱歌やリズムカードを活用して、反復を使って8拍のリズムをつくります。</p> <p>こうした表現教材と関連させながら、鑑賞曲「トルコ こうしんきょく」では、二つの旋律がそれぞれ繰り返される面白さに注目しながら音楽を聴き、曲のよさを感じ取ります。</p> <p>「反復」は音楽のいろいろなところで見付けることのできる音楽の仕組みです。この題材で学んだ「反復」の面白さを、今後の学習につなげていけるようにしましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
A 表現 (1) 歌唱 ア , イ , ウ (イ)(ウ) (3) 音楽づくり ア (イ), イ (イ), ウ (イ) B 鑑賞 ア , イ [共通事項] ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア リズム, 旋律, 拍, フレーズ イ 反復		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
① 曲想と歌詞の表す情景や旋律の反復、強弱、音の重なりなどとの関わりについて気付き、互いの歌声を聴きながら声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 ② リズムとそのつなげ方の特徴に気付き、反復を用いてリズムをつくる技能を身に付けてつくっている。 ③ 曲想と二つの旋律の特徴やその反復との関わりについて気付いている。	① 旋律やその反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、声の出し方や強弱などを工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 ② リズムが反復するよさや面白さを生かして、リズムのつなげ方を工夫し、どのような「おまつりの音楽」にするかについて思いをもっている。 ③ 旋律の反復や強弱の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見だし、体を動かすなどして味わって聴いている。	① 友達の考えを聞きながら、曲想と旋律の反復とのついでに興味・関心をもって歌う学習に楽しんで取り組もうとしている。 ② リズムの反復に着目して音楽をつくる学習に、友達と協働しながら楽しんで取り組み、反復を用いて簡単な音楽をつくることへの興味・関心を広げようとしている。 ③ 挙手をしたり友達の考えを聞いたりしながら、旋律の反復と曲想との関わりを意識して音楽を聴く学習に、楽しんで取り組もうとしている。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
せんりつの くりかえしに 気をつけて うたいましょ う。	○かねが なる	1	<ul style="list-style-type: none"> ●曲想と旋律の反復との関わりについて気付いて歌う。 ●旋律の反復を生かして、歌い方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆友達のを聞きながら、曲想と旋律の反復との関わりについて興味・関心をも って歌う学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態① 演奏聴取, 行動観察】 ◆旋律やその反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りな がら、声の出し方や強弱などを工夫し、どのように歌うかについて思いをもっ ている。 【思・判・表① 演奏聴取, 発言内容】 ◆曲想と歌詞の表す情景や旋律の反復、強弱、音の重なりなどとの関わりについ て 気付き、互いの歌声を聴きながら声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 【知・技① 演奏聴取, 行動観察, 発言内容】
くりかえしを つかって 音楽をつくりましょう。	☆おまつりの 音楽	2 3 4	<ul style="list-style-type: none"> ●いろいろなリズムパターンを組み合わせる。 ●反復を用いて8拍のリズムをつくる。 ●反復を生かしてつくったリズムを組み合わせる。 ●つくった「おまつりの 音楽」を発表して聴き合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆リズムとそのつなげ方の特徴に気付き、反復を用いてリズムをつくる技能を身に 付けてつくっている。 【知・技② 行動観察, ワークシート, 演奏聴取】 ◆リズムが反復するよさや面白さを生かして、リズムのつなげ方を工夫し、どのよ うな「おまつりの 音楽」にするかについて思いをもっている。 【思・判・表② 発言内容, 演奏聴取】 ◆リズムの反復に着目して音楽をつくる学習に、友達と協働しながら楽しんで取り 組み、反復を用いて簡単な音楽をつくることへの興味・関心を広げようとしてい る。 【態② 行動観察, 発言内容】
せんりつの くりかえしに 気をつけて ききましょう。	♪トルコ こうしんきょく	5 6	<ul style="list-style-type: none"> ●二つの旋律の反復に気を付けて聴く。 ●強弱の変化に気付き、そのよさや面白さを感じ取って聴く。 ●旋律の反復や強弱の変化に気を付けて、曲全体を味わって聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆拳手をしたり友達の考えを聞いたりしながら、旋律の反復と曲想との関わりを意 識して音楽を聴く学習に、楽しんで取り組もうとしている。 【態③ 行動観察】 ◆曲想と二つの旋律の特徴やその反復との関わりについて気付いている。 【知③ 行動観察, 発言内容】 ◆旋律の反復や強弱の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ 取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や 演奏の楽しさを見だし、体を動かすなどして味わって聴いている。 【思・判・表③ 行動観察, 発言内容】

題材名	7.いろいろな がっきの 音を さがそう	扱い時数のめやす
		6 時間
題材の目標	(1) 音色やリズムなどと曲想との関わりについて気付き、楽器の音色に気を付けて演奏したり、呼びかけとこたえを用いてリズムをつくったりする技能を身に付ける。 (2) 楽器の音色やリズムの違いが生み出すよさや面白さを見いだして聴いたり、楽器やリズムの組み合わせ方について思いをもったりする。 (3) 音色とその組合せのよさや面白さを見いだして聴いたり、それらの特徴を生かして表現したりする学習を楽しみ、楽器の音色への興味・関心を広げる。	
題材の意図		
<p>この題材では、身近にあるいろいろな打楽器が個々にもつ音色のよさや、それらの組合せの面白さを感じ取りながら、表現の仕方を工夫したり音楽を聴いたりする学習を進め、音色に関する感覚をさらに養っていきます。</p> <p>打楽器のいろいろな演奏の仕方を試しながら音色に親しむ1年生の学習を踏まえて、本題材では、鑑賞を通して打楽器の音色のよさを味わいながら、打楽器の音色への興味・関心をさらに引き出し、それをきっかけにして、音楽づくりや器楽の学習へと関連付けて展開します。</p> <p>打楽器の音色を聴き比べたり、音やリズムの組合せによる響きの違いを感じ取ったりするために行う音楽づくりの学習では、「打楽器を使って音でお話をする」といった、音によるコミュニケーションを図りながら、音楽の仕組みの一つ「呼びかけとこたえ」の働きが生み出す楽しさを感じることが出来ます。</p>		
学習指導要領との関連		
A表現 (1)歌唱 ア 、 イ 、 ウ (ア)(イ) (2)器楽 ア 、 イ (ア)(イ)、 ウ (ア)(イ)(イ) (3)音楽づくり ア (ア)(イ)、 イ (ア)(イ)、 ウ (ア)(イ) B鑑賞 ア 、 イ [共通事項] ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 音色 、リズム、音の重なり イ 呼びかけとこたえ ・身近な音符、休符、記号や音楽に関わる用語 2分音符		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
①リズムや音の重なりと曲想との関わりについて気付いている。 ②打楽器の音やリズムの 組合せ の特徴に気付き、即興的に音とリズムを選んで表現する技能を身に付けてリズムを打っている。 ③リズムのつなげ方の特徴に気付き、呼びかけとこたえを用いて音楽をつくる技能を身に付けてつくっている。 ④曲想と歌詞の表す様子との関わりや、打楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付き、音色に気を付けながら、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。	①音色やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、演奏のまねをするなどして曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。 ②打楽器の音色やリズムの特徴を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもっている。 ③音色、リズム、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、音の出し方や重ね方を工夫し、どのように 表現 するかについて思いをもっている。	①楽器の音色の特徴やリズムの重ね方と曲想との関わりについて興味・関心をもち、音楽を聴く学習に楽しんで取り組もうとしている。 ②打楽器の音色やそれに合うリズムに興味・関心をもち、友達とリズムを組み合わせる音楽をつくる学習に楽しんで取り組もうとしている。 ③歌に合わせて音を重ねて表現する学習に楽しんで取り組み、打楽器の音色やその組合せによる響きへの興味・関心を広げようとしている。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
いろいろな がっきの 音の中から すきな 音を さがしましょう。	♪だ がっき パーティー	1 2	●打楽器の音色やリズムに気を付けて、曲想を感じ取って聴く。 ●音楽の仕組みに気付きながら、曲全体を味わって聴く。	◆楽器の音色の特徴やリズムの重ね方と曲想との関わりについて興味・関心をもち、音楽を聴く学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態① 行動観察, 発言内容】 ◆リズムや音の重なりと曲想との関わりについて気付いている。 【知① 行動観察, ワークシート】 ◆音色やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、演奏のまねをするなどして曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表① 発言内容, 行動観察】
がっきの 音の くみあわせを 楽しみましょう。	☆がっきで おはなし	(2) 3 4	●楽器とその音色の特徴に合うリズムを選び、即興的に表現する。 ●呼びかけとこたえを使って友達とリズム遊びをする。 ●ペアでつくったリズムを発表し合う。	◆打楽器の音やリズムの 組合せ の特徴に気付き、即興的に音とリズムを選んで表現する技能を身に付けてリズムを打っている。 【知・技② 行動観察, 演奏聴取】 ◆リズムのつなげ方の特徴に気付き、呼びかけとこたえを用いて音楽をつくる技能を身に付けてつくっている。 【知・技③ 発言内容, 行動観察】 ◆打楽器の音色やリズムの特徴を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもっている。 【思・判・表② 行動観察, 演奏聴取】 ◆打楽器の音色やそれに合うリズムに興味・関心をもち、友達とリズムを組み合わせる音楽をつくる学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態② 行動観察, 発言内容, 演奏聴取】
いろいろな がっきの 音を かさねて えんそうしましょう。	◇○かぼちゃ	5 6	●曲の感じをつかんで歌ったり、リズム打ちをしたりする。 ●音色の特徴を生かして、音の組合せや重ね方を工夫する。 ●楽器の音色の違いに気を付けながら歌に合わせて演奏して、聴き合う。	◆歌に合わせて音を重ねて表現する学習に楽しんで取り組み、打楽器の音色やその組合せによる響きへの興味・関心を広げようとしている。 【態③ 行動観察, 演奏聴取】 ◆音色、リズム、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音の出し方や重ね方を工夫し、どのように 表現 するかについて思いをもっている。 【思・判・表③ 発言内容, 行動観察, 演奏聴取】 ◆曲想と歌詞の表す様子との関わりや、打楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付き、音色に気を付けながら、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。 【知・技④ 演奏聴取】

題材名	8. ようすを おもいうかべよう	扱い時数のめやす 7時間
題材の目標	(1) 曲想と歌詞の表す様子, 旋律, 強弱や速度などとの関わりについて気付き, 自分の声や楽器の音色に気を付けて表現する技能を身に付ける。 (2) 曲想と歌詞の表す様子, 音色, 旋律の音の動き, 強弱や速度との関わりについて考え, 歌い方や演奏の仕方について思いをもったり, 曲や演奏のよさや面白さを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3) 友達と話し合いながら, 思いをもって曲想に合う表現の仕方を工夫したり, 曲想に合う体の動きを付けて音楽を聴いたりする学習に楽しんで取り組む。	
題材の意図	この題材では, 歌詞が表す様子や音楽を聴いて想像したことと, 音楽を形づくっている要素などとの関わりについて気付き, 曲のよさや面白さを見いだしながら聴いたり, 思いをもって表情豊かに表現したりすることができるように学習を進めます。 鑑賞の学習においては, 想像力を働かせて音楽と関わるができるように, 曲の感じに合わせて体を動かしたり, 聴いて感じたことを友達と伝え合ったりして, 場面の様子やその変化を想像しながら, 曲全体を味わって聴くようにします。 また, 歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら, 言葉の感じを生かした歌い方や声の出し方を工夫して歌う学習を深め, 思いをもって歌うことの大切さを押さえるとともに, きれいな発音や発声に気を付けて歌う習慣を身に付けるようにしましょう。	
学習指導要領との関連	A表現 (1)歌唱ア, イ, ウ(ア)(イ) (2)器楽ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ) B鑑賞 ア, イ [共通事項] ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 音色, リズム, 速度, 旋律, 強弱 イ 反復	

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち, アは音楽を特徴付けている要素, イは音楽の仕組みです。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
①歌詞の表す様子や声の音色, リズム, 旋律と曲想との関わりについて気付き, 自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。 ②音色や旋律の反復, 変化と曲想との関わりについて気付いている。 ③音色や旋律の反復, フレーズと曲想との関わりについて気付き, 音色に気を付けて鍵盤ハーモニカを演奏する技能を身に付けて演奏している。	①音色や旋律, 強弱, 速度などを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え, 曲や演奏の楽しさを見いだして聴いている。 ②歌詞の表す情景や気持ちを想像し, 声の音色, 旋律, 強弱や速度を聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 声の出し方や表現の仕方を工夫し, どのように歌うかについて思いをもっている。 ③音色や旋律の反復, 強弱の違いを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, どのように表現するかについて思いをもっている。	①歌詞の表す情景や気持ちが伝わるような歌い方に興味・関心を持ち, 友達と話し合いながら歌う学習に楽しんで取り組もうとしている。 ②曲に合わせて体を動かしたり, 友達と話し合っ自分や友達の考えたことを試したりしながら, 音楽を聴く学習に楽しんで取り組もうとしている。 ③歌詞の表す情景や気持ちに興味・関心を持ち, 音色や旋律に気を付けながら, 表現する学習に楽しんで取り組もうとしている。

※「あのね、のねずみは」と「夕やけこやけ」の態①は, 同じ観点で見取っています。

※「夕やけこやけ」と「小ぎつね」の思・判・表②は, 同じ観点で見取っています。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
かしゃ きょくの かんじを 生かして うたいましょう。	○あのね、のねずみは	1	●歌詞の表す様子を想像し、リズムに気を付けながら歌詞唱する。 ●歌詞の表す様子や旋律のリズムを生かした歌い方を工夫して歌う。	◆歌詞の表す情景や気持ちが伝わるような歌い方に興味・関心をもち、友達と話し合いながら歌う学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態① 演奏聴取, 表情観察】 ◆歌詞の表す様子や声の音色, リズム, 旋律と曲想との関わりについて気付き, 自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。 【知・技① 演奏聴取, 発言内容】
きょくが あらわす ようす をおもいうかべながら き きましょう。	♪たまごの からをつけた ひなどりの パレエ	2 3	●曲の表す様子を思い浮かべながら, 曲や演奏の楽しさを見いだして聴く。 ●旋律の反復と変化に気付き, 曲が表す様子の移り変わりを楽しんで聴く。	◆曲に合わせて体を動かしたり, 友達と話し合っ自分や友達の考えたことを試したりしながら, 音楽を聴く学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態② 行動観察, 表情観察】 ◆音色や旋律, 強弱, 速度などを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え, 曲や演奏の楽しさを見いだして聴いている。 【思・判・表① 発言内容, 記述内容, 行動観察】 ◆音色, 旋律の反復や変化と曲想との関わりについて気付いている。 【知② 行動観察, 発言内容】
かしの ようすを おもいう かべながら うたいましょ う。	(共)夕やけこやけ	(3) 4	●歌詞の表す情景を想像しながら, 歌詞唱する。 ●歌詞の表す情景, 旋律や速度などと曲想との関わりについて考え, 歌い方を工夫する。	◆歌詞の表す情景や気持ちが伝わるような歌い方に興味・関心をもち, 友達と話し合いながら歌う学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態① 演奏聴取, 表情観察, 発言内容】 ◆歌詞の表す情景や気持ちを想像し, 声の音色, 旋律, 強弱や速度を聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 声の出し方や表現の仕方を工夫し, どのように歌うかについて思いをもっている。 【思・判・表② 演奏聴取, 発言内容】
ばめんの ようすを おもい うかべながら, うたったり ふいたり しましょう。	◇○小ぎつね	5 6 7	●歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら歌う。 ●旋律や強弱, 速度と曲想との関わりについて考え, 歌い方を工夫する。 ●旋律の反復やフレーズを意識して, 旋律を演奏する。 ●音色や旋律と曲想との関わりについて考え, 強弱の仕方を工夫して表現する。	◆歌詞の表す情景や気持ちに興味・関心をもち, 音色や旋律に気を付けながら, 表現する学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態③ 発言内容, 表情観察】 ◆歌詞の表す情景や気持ちを想像し, 声の音色, 旋律, 強弱や速度を聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 声の出し方や表現の仕方を工夫し, どのように歌うかについて思いをもっている。 【思・判・表② 発言内容, 演奏聴取】 ◆音色や旋律の反復, フレーズと曲想との関わりについて気付き, 音色に気を付けて鍵盤ハーモニカを演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知・技③ 行動観察, 演奏聴取】 ◆音色や旋律の反復, 強弱の違いを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, どのように表現するかについて思いをもっている。 【思・判・表③ 演奏聴取, 発言内容, 行動観察】

※「あのね、のねずみは」と「夕やけこやけ」の態①は, 同じ観点で見取っています。

※「夕やけこやけ」と「小ぎつね」の思・判・表②は, 同じ観点で見取っています。

題材名	9. 日本の うたで つながろう	扱い時数のめやす
		4 時間
題材の目標	<p>(1) わらべうたの旋律の特徴などに気付き、拍にのって体を動かしながら声を合わせて歌ったり即興的に音を選んで伴奏をつくったりする技能を身に付ける。</p> <p>(2) わらべうたの旋律の特徴から、そのよさや楽しさを見いだして聴いたり、歌い方や遊び方について思いをもったり、伴奏の音の選び方を通して音楽づくりの発想を得たりする。</p> <p>(3) 遊び方を知ってわらべうたを聴きながら歌ったり、友達と一緒に伴奏をつくって表現したりする学習を楽しみ、生活の中の遊びに生かしたり、ほかのわらべうたにも関心をもったりする。</p>	
題材の意図		
<p>この題材では、友達と一緒に遊びながら歌う楽しさや喜びを味わう活動を通して、我が国や郷土の音楽のもつ雰囲気や表情などに自然に親しむことをねらっています。教材の配列も、伴奏づくりなどの活動を通して、わらべうたを音楽としてより身近に感じ取ることができるように考慮されています。また、友達と遊んだり歌ったりする活動を通して、無理なく拍感を培ったり、我が国の音階など伝統的な音感覚を養ったりして、我が国の音楽らしさが感じられる旋律づくりをするための素地をつくっていきます。</p> <p>こうした学習を踏まえ、ふだんの生活の中の遊びとわらべうたが関わっていることに気付いたり、ほかのわらべうたにも関心をもったりすることができるようにしましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1)歌唱ア、イ、ウ(ア)(イ) (3)音楽づくりア(ア)、イ(イ)、ウ(ウ)</p> <p>B鑑賞 ア、イ</p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 旋律、音の重なり、拍、フレーズ 		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>① わらべうたの旋律と曲想との関わりについて気付いている。</p> <p>② 拍にのって、体を動かしながら、友達と声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>③ 音やフレーズのつなげ方の特徴に気付き、提示された音やリズムを使って、即興的に音を選んで伴奏をつくる技能を身に付けてつくっている。</p>	<p>① 旋律やフレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌い方について思いをもったり、わらべうたの楽しさを見いだして聴いたりしている。</p> <p>② わらべうたの旋律やフレーズを生かし、伴奏をつくったり前奏や後奏を工夫したりして、音楽づくりの発想を得ている。</p>	<p>① わらべうたの旋律と曲想との関わりについて興味・関心を持ち、体を動かしながら聴く学習を楽しんで取り組もうとしている。</p> <p>② わらべうたに親しみ、拍の変化に興味・関心を持ち、友達と声を合わせて歌う学習を楽しんで取り組もうとしている。</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
わらべうたを きいたり うたったり しましょう。	♪ずいずい ずっころばし/ あんたがた どこさ	1 2	●わらべうたの旋律に親しみ、手遊びうたを楽しむ。 ●フレーズを感じ取って、まりつきうたを楽しむ。	◆わらべうたの旋律と曲想との関わりについて興味・関心を持ち、体を動かしながら聴く学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態① 行動観察】 ◆わらべうたの旋律と曲想との関わりについて気付いている。 【知① 発言内容, 演奏聴取】 ◆旋律やフレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌い方について思いをもったり、わらべうたの楽しさを見いだして聴いたりしている。 【思・判・表① 行動観察, 発言内容】
わらべうたにあう ばんそ うをつくって 楽しみまし ょう。	○なべ なべ そこ ぬけ ☆ばんそうあそび	3 4	●拍によって体を動かしながら「なべ なべ そこ ぬけ」を歌い、わらべうたに親しむ。 ●提示された音とリズムで、「ばんそうあそび」をする。	◆拍によって、体を動かしながら、友達と声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 【技② 演奏聴取】 ◆わらべうたに親しみ、拍の変化に興味・関心を持ち、友達と声を合わせて歌う学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態② 行動観察】 ◆音やフレーズのつなげ方の特徴に気付き、提示された音やリズムを使って、即興的に音を選んで伴奏をつくる技能を身に付けてつくっている。 【知・技③ 演奏聴取】 ◆わらべうたの旋律やフレーズを生かし、伴奏をつくったり前奏や後奏を工夫したりして、音楽づくりの発想を得ている。 【思・判・表② 発言観察, 行動観察】

題材名	10. みんなで あわせて 楽しもう	扱い時数のめやす
		10時間
題材の目標	<p>(1) 歌詞の表す様子，歌声や楽器の音色，旋律やその重なり，反復や呼びかけとこたえなどと曲想との関わりについて気付き，声や音を合わせて表現する技能を身に付ける。</p> <p>(2) 歌声や楽器の音色，旋律の呼びかけ合いや反復などを生かして，声や音の出し方について思いをもったり，それを基に曲全体を味わって聴いたりする。</p> <p>(3) 互いに聴き合いながら声や音を合わせて表現する学習や，楽器の音色や旋律の呼びかけ合う面白さを感じ取って聴く学習に，友達と協力して楽しんで取り組む。</p>	
題材の意図		
<p>この題材では，2年生の学習のまとめとして，友達と気持ちを合わせて楽しく演奏したり合奏の楽しさを感じ取りながら聴いたりする学習を行います。</p> <p>歌唱や器楽では，これまでの学習で身に付けてきたことを生かし，歌声や楽器の音色，旋律やその組み合わせ方について，自分なりの思いをもちながら表現を工夫することができるようにします。また，互いの声や音を聴き合いながら歌ったり演奏したりする力を養う中で，自分や友達が担当するパートの役割を意識し，音だけでなく気持ちを合わせて演奏することの喜びを味わうようにしましょう。</p> <p>鑑賞では，いろいろな楽器の音色に気を付けて聴き，「反復」や「呼びかけとこたえ」の面白さを感じ取りながら，「音楽を聴くことが楽しい」「好きだ」と思える気持ちを育てていきましょう。</p> <p>2年生での学びを振り返りながら，3年生以降も意欲をもって取り組めるように留意して，学習を締めくくきましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1)歌唱ア, イ, ウ(ア)(イ)(ウ) (2)器楽ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)(ウ)</p> <p>B鑑賞 ア, イ</p> <p>〔共通事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 <ul style="list-style-type: none"> ア 音色，旋律，音の重なり イ 反復，呼びかけとこたえ，音楽の縦と横との関係 		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち，アは音楽を特徴付けている要素，イは音楽の仕組みです。

題材の評価規準		
知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思・判・表）	主体的に学習に取り組む態度（態）
<p>①歌詞の表す様子，旋律やその重なりと曲想との関わりについて気付き，自分の歌声や発音に気を付け，互いの歌声を聴きながら声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>②範唱を聴いて歌詞や階名で歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>③楽器の音色と演奏の仕方との関わりや，旋律やその重なりと曲想との関わりについて気付き，思いを表現するために必要な，音色に気を付けて，鍵盤ハーモニカや低音楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>④楽器の音色の違いや旋律の呼びかけ合いと曲想との関わりについて気付いている。</p> <p>⑤歌詞の表す情景や気持ち，旋律の音の動きやリズムの反復と曲想との関わりについて気付き，自分の歌声や発音に気を付けて，友達と声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。</p>	<p>①旋律やその重なり，音楽の縦と横との関係を聴き取り，それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら，声の出し方を工夫し，どのように歌うかについて思いをもっている。</p> <p>②楽器の音色や旋律のまとまり，歌声と音の重なりを聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら，聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え，三つのパートの楽器の音色やその組合せを工夫し，どのような演奏にするかについて思いをもっている。</p> <p>③楽器の音色や旋律の呼びかけとこたえを聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら，曲や演奏の楽しさを見だし，曲全体を味わって聴いている。</p>	<p>①擬音語の面白さを生かした歌詞や旋律の反復と曲想との関わりについて興味・関心をもち，体を動かしながら声の出し方を工夫して歌う学習に楽しんで取り組もうとしている。</p> <p>②楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて興味・関心をもち，友達の歌声や楽器の音を聴きながら，自分の声や音を合わせて表現する学習に楽しんで取り組もうとしている。</p> <p>③声を合わせて表現する音楽のよさや面白さを感じ取る学習に楽しんで取り組み，音楽活動への興味・関心を深めようとしている。</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
たがいの うたごえを きき あいながら うたいましょ う。	○どこかで	1 2	●指導用 CD を聴き、曲の感じや歌詞の擬音語の面白さを感じ取って歌う。 ●声の出し方を工夫して、友達の声聴きながら輪唱する。	◆擬音語の面白さを生かした歌詞や旋律の反復と曲想との関わりについて興味・関心を持ち、体を動かしながら声の出し方を工夫して歌う学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態① 行動観察, 演奏聴取】 ◆旋律やその重なり、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、声の出し方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 【思・判・表① 演奏聴取, 発言内容, 行動観察】 ◆歌詞の表す様子、旋律やその重なりと曲想との関わりについて気付き、自分の歌声や発音に気を付け、互いの歌声を聴きながら声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 【知・技① 演奏聴取】
うたごと がっきの 音を あわせて えんそうしまし よう。	◇○こぐまの 二月	3 4 5 6	●指導用 CD を聴いて主な旋律の特徴に気付き、歌詞や階名で歌う。 ●主な旋律や低音楽器のパートを、階名唱したり楽器の音色に気を付けて演奏したりする。 ●音の重なりを感じ取りながら、歌ったり演奏したりする。 ●互いの音を聴き合いながら、歌声や音を合わせて演奏する。	◆範唱を聴いて歌詞や階名で歌う技能を身に付けて歌っている。 【技② 演奏聴取, 行動観察】 ◆楽器の音色と演奏の仕方との関わりや、旋律やその重なりと曲想との関わりについて気付き、思いを表現するために必要な、音色に気を付けて、鍵盤ハーモニカや低音楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知・技③ 演奏聴取, 行動観察】 ◆楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて興味・関心を持ち、友達の歌声や楽器の音を聴きながら、自分の声や音を合わせて表現する学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態② 行動観察, 演奏聴取】 ◆楽器の音色や旋律のまとまり、歌声と音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、三つのパートの楽器の音色やその組合せを工夫し、どのような演奏にするかについて思いをもっている。 【思・判・表② 行動観察, 発言内容, 演奏聴取】
がっそうの 楽しさを かん じながら ききましょう。	♪エンターテイナー	7 8	●旋律の反復に気付いて聴く。 ●演奏している楽器の音色の違いや、音楽の仕組みに気付いて聴く。 ●旋律の呼びかけとこたえと曲想との関わりについて捉え、曲全体を味わって聴く。	◆楽器の音色の違いや旋律の呼びかけ合いと曲想との関わりについて気付いている。 【知④ 行動観察, 発言内容】 ◆楽器の音色や旋律の呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表③ 行動観察, 発言内容, ワークシート】
みんなで 気持ちを あわせ て うたいましょ。	(共)はるが きた	9 10	●歌詞を読んで情景を想像しながら歌う。 ●旋律の特徴に気付いて、自分の歌声や発音に気を付けて歌う。 ●歌詞の表す情景や気持ち、旋律の特徴と曲想との関わりを生かして、声を合わせて歌う。	◆歌詞の表す情景や気持ち、旋律の音の動きやリズムの反復と曲想との関わりについて気付き、自分の歌声や発音に気を付けて、友達と声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 【知・技⑤ 演奏聴取, 発言内容】 ◆声を合わせて表現する音楽のよさや面白さを感じ取る学習に楽しんで取り組み、音楽活動への興味・関心を深めようとしている。 【態③ 行動観察, 演奏聴取】